

リズムの動きによる音楽の面白さを感じ取ることができる児童の育成

～わらべうたや世界の民謡を身体表現する活動を取り入れて～

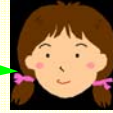
音楽班 竹澤 理恵子 (小学校教諭)

リズムなど音楽の諸要素を生かした活動

3年生の実践

リズムを身体表現する活動

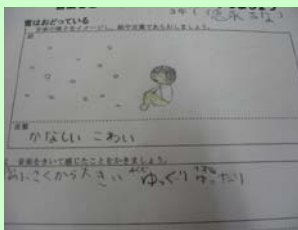
鑑賞した音楽はどのように感じるの？
演奏するとき、音を正確に演奏するだけでいいかな？



音符からリズムを読んだり、リズムをつくら
りするのはむずかしいな。

音楽の様子や雰囲気と諸要素を結び付ける

聴いた音楽を絵や言葉で表し、感受した諸要素の動きを考える
曲：「雪はおどっている」 曲：「雪」



リズム：ゆったり
速度：ゆっくり
強弱：小さいから大きい

リズム：スキップ うきうき
速度：はやい
強弱：だんだん大きく

諸要素の工夫をしながらイメージした音楽を演奏する

「静かに降る雪は、ゆったりリズム、木琴の柔らかい音で。」
「キラキラ降る雪は、スキップリズム、鉄琴のかたい音で、
やや速く。」

ゆったり歩くリズム、行進の
リズム、忙しいリズム、スキップ
リズムなど…
リズムの特徴をつかんだね！



楽しそうに降る雪だから
リズムはスキップリズム
速度は中くらいにしよう

音楽はこれらのもの
でつくられているね。

鑑賞

様子や雰囲気



リズム 旋律 和声 拍 フレーズ 音色
強弱 速度 調 くり返し 変化 対照 …

感受



工夫

思い
願い

思考



表現

イメージ



研修の成果と課題

- 成果：**○手を合わせたりつないだり、身体をふれ合いさせながら身体表現をしたところ、リズムへ興味・関心をもって取り組むことができたとともに、心を通わせ共に学ぼうとする態度が見られるようになった。
○継続したリズム活動を行った結果、リズムの特徴をとらえ、その面白さやよさを感じ取ることができた。
○身体でとらえたリズムを音符で掲示したところ、以前よりも音符に注意を払って演奏するようになった。
- 課題：**・リズムを視覚的にとらえるようにしたが、音符の長さを理解するまでにはいかなかった。今後は音符や休符の動きを理解し活用できるような指導を行う。
・自分らしい音楽表現とは、思いや願いをもち、音楽の諸要素を考え工夫することが大切になってくる。児童の音楽性を伸ばすための一助となるよう、リズムと他の要素とのかかわりに着目した指導を行っていく。